

# 取扱説明書 施工要領書

## ソフトアクアール ハンドシリーズ

- この度は「ソフトアクアール」をお買い求めいただき、ありがとうございます。  
ご使用前にはこの取扱説明書・施工要領書をよくお読みの上、正しく安全にご使用ください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

### 納入業者様へ

施工は納入業者様が行ってください。  
P.7『保証規定』に納入業者様名、ご購入日を記入する箇所がありますので、必ずご記入ください。  
施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

### お客様へ

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



### マークの種類について

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

### もくじ

各部の名称	2
安全上のご注意	2
施工方法	
・施工前の準備・確認事項	3
・手すり棒のカット方法	3
・手すり棒の取付方法	3-4
・カバーのはずし方	4
・出隅 I 型ハンドの施工	4
・L型自在ハンドの施工	4
・ユニットバス	
化粧鋼板での施工方法	4-5
フレキシブル板+発泡ポリスチレン	
タイル+けい酸カルシウム板での施工方法	5
・在来工法	
コンクリート下地での施工方法	6
木下地での施工方法	6-7
お手入れ方法	7
保証規定(保証書)	7
基本仕様	8

# 各部の名称

●施工前に部品の不足がないかを確認する。

<p><b>I型ハンド</b> SAQ-I-400W/500W/600W/800W/1200W</p> <p>※SAQ-I-1200Wのみ補強手すり棒が手すり棒内部にセットされています。</p> <p>I型ハンド 本体 【数量】1セット          本体カバー(スリットなし) 【数量】2個          ※I型ハンド本体にセット済</p> <p>壁取付け用固定ねじ          ◎トラスタッピンねじ5×20 【数量】12本          ◎トラスタッピンねじ5×70 【数量】6本</p> <p>ねじキャップ 【数量】2個</p>	<p><b>L型自在ハンド</b> SAQ-L-6060W/6080W</p> <p>L型ハンド 本体 【数量】2セット          自在Lブラケット 【数量】1個          エンドブラケット</p> <p>自在Lキャップ 【数量】1個          本体カバー 【数量】3個</p> <p>スリットなし...エンドブラケット用</p> <p>スリットあり...自在Lブラケット用</p> <p>壁取付け用固定ねじ          ◎トラスタッピンねじ5×20 【数量】18本          ◎トラスタッピンねじ5×70 【数量】9本</p> <p>手すり取付け用固定ねじ          ◎ドリルねじ4×13 【数量】2本</p> <p>ねじキャップ 【数量】4個</p>	<p><b>L型ハンド</b> SAQ-K-6060W/6080W</p> <p>L型ハンド 本体 【数量】2セット          エンドブラケット</p> <p>コーナーブラケット 【数量】1個</p> <p>本体カバー 【数量】3個</p> <p>スリットなし...エンドブラケット用</p> <p>スリットあり...コーナーブラケット用</p> <p>壁取付け用固定ねじ          ◎トラスタッピンねじ5×20 【数量】18本          ◎トラスタッピンねじ5×70 【数量】10本</p> <p>手すり取付け用固定ねじ          ◎ドリルねじ4×13 【数量】2本</p> <p>ねじキャップ 【数量】4個</p>		
<p><b>T型ハンド</b> SAQ-T-1260W</p> <p>T型ハンド 本体 【数量】3セット          エンドブラケット</p> <p>三方ブラケット 【数量】1個</p> <p>本体カバー 【数量】4個</p> <p>スリットなし...エンドブラケット用</p> <p>スリットあり...三方ブラケット用</p> <p>壁取付け用固定ねじ          ◎トラスタッピンねじ5×20 【数量】24本          ◎トラスタッピンねじ5×70 【数量】13本</p> <p>手すり取付け用固定ねじ          ◎ドリルねじ4×13 【数量】3本</p> <p>ねじキャップ 【数量】6個</p>	<p><b>オフセット型ハンド</b> SAQ-O-400W/600W</p> <p>縦使いのみ・在来工法壁専用</p> <p>オフセット型ハンド 本体 【数量】1セット</p> <p>本体カバー(スリットなし) 【数量】2個          ※オフセット型ハンド本体にセット済</p> <p>ねじキャップ 【数量】4個</p> <p>壁取付け用固定ねじ          ◎トラスタッピンねじ5×70 【数量】8本</p>	<p><b>出隅I型ハンド</b> SAQ-D-600W/800W</p> <p>縦使いのみ・出隅木下地専用</p> <p>出隅I型ハンド 本体 【数量】1セット</p> <p>本体カバー 【数量】2個</p> <p>ねじキャップ 【数量】2個</p> <p>壁取付け用固定ねじ          ◎皿木ねじ3.8×40 【数量】8本          ◎皿木ねじ3.8×20 【数量】4本</p>		
<p><b>本体カバーの種類</b></p> <p>スリットなし 手すり棒の固定を行う前に通しておく。 (エンドブラケット・オフセットブラケット)</p>		<p>スリットあり 施工後にも取付けることができる。 (自在Lブラケット・コーナーブラケット・三方ブラケット)</p>		<p>※スリットなしの本体カバーは、穴を通らないため対応ブラケット以外には取付けできない。</p>

## 安全上のご注意

●施工前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。



**警告** 死亡または重傷を負う可能性がある内容

- ⊖ 他シリーズ(ステンアクアレール・ソフトアクアレールプラスを含む)、他社製品との併用は絶対にしない。
- ⊖ 施工可能な壁以外の壁には絶対に取付けない。(P. 3 施工前の準備・確認事項参照)
- Ⓜ 壁の種類に応じて指定の固定ねじで指定のねじ止め位置に必要な本数を必ず取付ける。(P. 4~7 参照)
- Ⓜ 指定の下穴径を必ず守る。
- Ⓜ 指定のブラケットピッチ(800mm以内)を必ず守る。(補強手すり棒併用の場合は1200mm以内。)
- Ⓜ 過去に生産された一部のユニットバスにおいて、壁の下地材や壁の基材に石綿(アスベスト)を含有したものを使用している場合がある為、施工前には必ずユニットバスメーカーへ確認する。



**注意** 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容

- ⊖ 屋外で使用しない。
- ⊖ 強い衝撃を与えない。
- ⊖ 火気を近づけたり、ヒーター等(暖房機)の前で使用しない。変形・変色・やけどの原因となる。
- ⊖ 必要な部品を省かない。
- ⊖ 製品に乗ったり、ぶらさがったりしない。
- ⊖ 無理な力を加えない。
- ⊖ 破損があるものは使用しない。
- ⊖ 改造は絶対にしない。
- ⊖ オフセット型ハンドは横使いしない。また、在来工法壁以外の壁には取付けない。
- ⊖ 出隅I型ハンドは横使いしない。また、木下地以外の壁には取付けない。
- ⊖ 海外で使用しない。※本製品は日本国内専用
- Ⓜ スリットありの本体カバーは横方向に開かない。本体カバーが割れてけがの原因となる。取付けの際はひねって取付ける。
- Ⓜ 浴室で使用する場合は必ずシーリングを行う。
- Ⓜ ユニットバスに取付ける場合はパネルとパネルのジョイント部から100mm以上離す。パネル裏のジョイント部材にねじが干渉する恐れがある。
- Ⓜ 壁の材質がわからない場合は各ユニットバスメーカーへ確認をする。
- Ⓜ 施工後はガタツキが無いことを必ず確認する。
- Ⓜ 異常があった際は使用を中止して納入業者様、またはマツ六まで相談する。



# 施工方法

## 施工前の準備・確認事項

- 施工可能な壁と使用する壁取付け用固定ねじを確認する。

### ユニットバス

**化粧鋼板**

石こうボード (9.5mmまたは12.5mm)  
化粧鋼板 (0.4mm以上)  
合板 (4mm以上)  
化粧鋼板 (0.4mm以上)

**鋼板**

鋼板 (0.4mm以上)  
ウレタン (5mm)  
化粧鋼板 (0.4mm以上)

壁取付け用固定ねじ (同梱品)  
トラスタッピンねじ 5 × 20

※オフセット型、出隅 I 型ハンドを除く

施工方法はP. 4へ

---

**フレキシブル板**

発泡ポリスチレン (15mm以下)  
フレキシブル板 (5mm)

**タイル**

けい酸カルシウム板 (10mm以下)  
タイル (5mm)

壁取付け用固定ねじ SAQ-OP8 (別売)  
トラスタッピンねじ 4 × 50  
中空壁用アンカー・専用角座金

※オフセット型、出隅 I 型ハンドを除く

施工方法はP. 5へ

### 在来工法

**コンクリート下地**

コンクリート  
モルタル  
タイル (5mm)

※表面仕上げがタイル以外のコンクリート下地も含む。

壁取付け用固定ねじ (同梱品) + オールプラグ (別売)  
トラスタッピンねじ 5 × 70  
オールプラグ

※出隅 I 型ハンドを除く

施工方法はP. 6へ

---

**木下地**

木下地  
間柱  
ラス網  
モルタル  
木摺り  
タイル (5mm)

**柱**

柱  
下地  
間柱  
石こうボード (9.5mmまたは12.5mm)

※ねじは柱または下地に打つ。  
※下地が幅90mm未満の場合はベースプレートを使用する。

壁取付け用固定ねじ (同梱品)  
トラスタッピンねじ 5 × 70

※出隅 I 型ハンドを除く

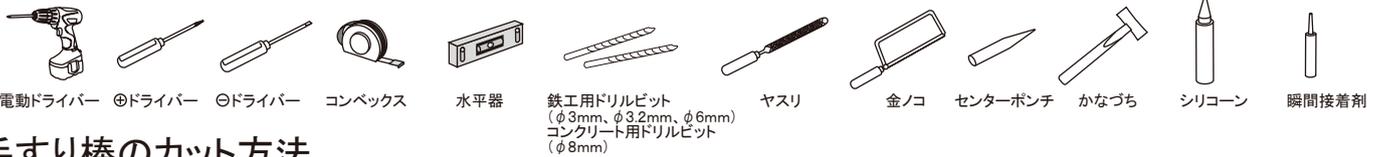
施工方法はP. 6へ

### 施工不可能な壁

×

- ・FRP
- ・ホーロー
- ・けい酸カルシウム板 + 石こうボード
- ・天然大理石
- ・その他強度不足の壁

### ● 施工に必要な工具類



## 手すり棒のカット方法

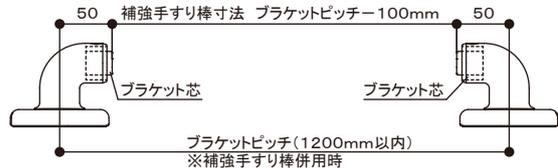
1. 手すり取付け用固定ねじをはずす。  
※手すり棒の両端にブラケットがついている場合。
2. カット寸法を確認して金ノコで手すり棒をカットする。

### 樹脂巻手すり棒のカット寸法



### 補強手すり棒のカット寸法

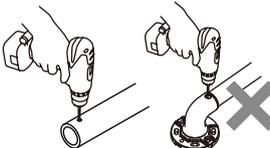
※SAQ-I-1200Wのみ補強手すり棒がセットされています。



- 補強手すり棒は必要寸法より短くカットしない。ねじ固定しない為、短くカットするとガタつく恐れがある。
- カット時にバリが発生した場合はヤスリでバリを必ず落とす。

## 手すり棒の取付方法

1. ブラケットに手すり棒をセットして下穴位置をけがく。
2. 手すり棒にφ3.2mmの下穴をあける。



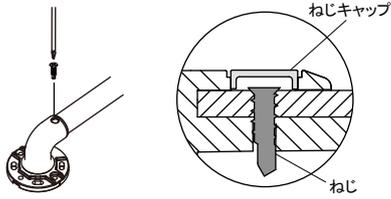
- ブラケットにセットした状態で下穴をあけない。

### エンドブラケット・オフセットブラケットの場合

本体カバーは手すり取付け用固定ねじをとめる前に、手すり棒に通しておく。(スリットがないため、後付けができない。)

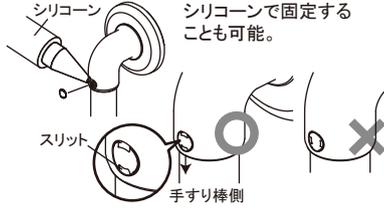


### 3. 手すり取付け用固定ねじをとめる。



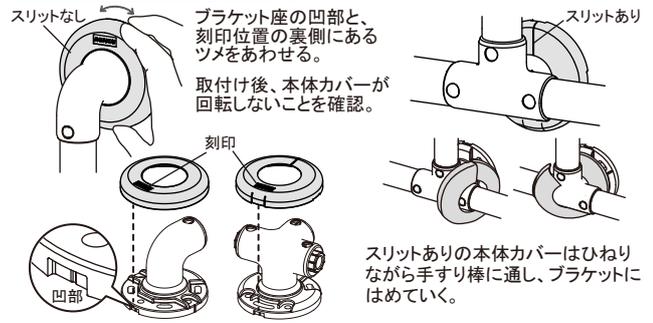
- ・ねじ頭が浮かないようにとめる。浮いているとねじキャップがしっかり取付けできない。

### 4. ねじキャップをはめる。



- ・ねじキャップのスリットは手すり棒側にスリットがくるように上図の向きで取付ける。

### 本体カバーの取付け方

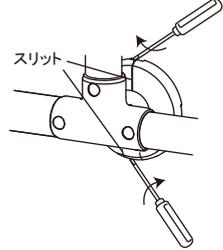


- スリットありの本体カバーはひねりながら手すり棒に通し、ブラケットにはめていく。

## カバーのはずし方

### 本体カバーのはずし方

スリットに ⊖ドライバーを差込み、ひねる。



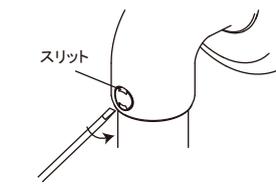
スリットなしの本体カバーの場合は、刻印位置のへり辺りにあるブラケット座の凹部を担って壁とのすき間にドライバーを差込む。



- ・本体カバー、ねじキャップは一度取付けるとはずれにくい為、施工完了時に取付けること。

### ねじキャップのはずし方

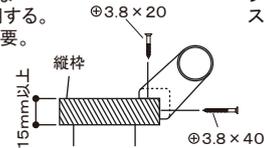
スリットに ⊖ドライバーを差込み、ひねる。



## 出隅 I 型ハンドの施工

### 壁取付け用固定ねじについて

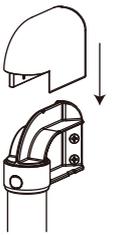
縦枠の厚さが薄い場合は  $\phi 3.8 \times 20$  のねじを使用する。枠厚さは15mm以上必要。



- ・枠からねじが出ない事を確認する。
- ・出隅 I 型ハンドは木下地以外には施工しない。コンクリート下地には施工できない。

### カバーの取付け方

ブラケット端部よりカバーをスライドさせて取付ける。

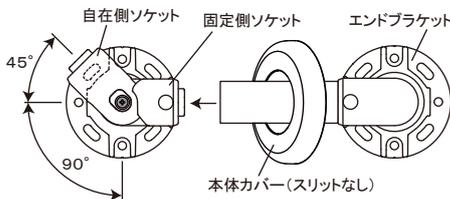


## L型自在ハンドの施工

※ブラケットの取付方法はP.4~7 壁別の施工方法を参照

### 1. 自在Lブラケットの固定側ソケットに手すり棒を固定する。

自在Lブラケットの首振り角度は  $90^\circ$  から  $45^\circ$  の為、左右勝手が発生する。固定前に取付け方向を確認する。

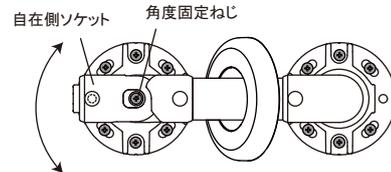


エンドブラケット用の本体カバーは手すり取付け用固定ねじをとめる前に、手すり棒に通しておく。(スリットがないため、後付けができない。)



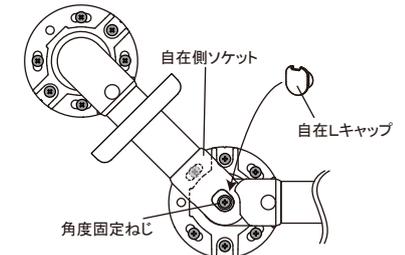
### 2. ブラケットを壁に取付ける。

ねじ止め位置が自在側ソケットで隠れている場合は角度固定ねじをゆるめ、ねじ止め位置から自在側ソケットをずらして壁に取付ける。※図は化粧鋼板での取付けの場合



### 3. 自在側ソケットに手すり棒を固定しブラケットを壁に取付ける。

角度固定ねじをしめて、自在Lキャップをはめる。



## ユニットバス 化粧鋼板での施工方法

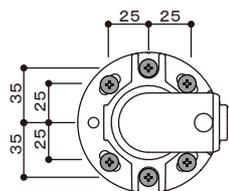
- ・オフセットブラケットは在来工法壁専用の為、ユニットバスには取付けない。
- ・出隅ブラケットは木下地専用の為、ユニットバスには取付けない。
- ・施工後はガタツキが無いことを必ず確認する。

### 1. 使用する壁取付け用固定ねじと各ブラケットのねじ止め位置を確認する。

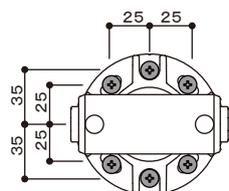
壁取付け用固定ねじ(同梱品)

トラスタッピンねじ  $5 \times 20$

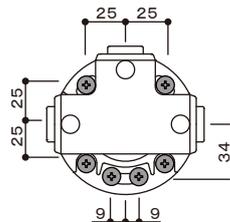
エンドブラケット 6本



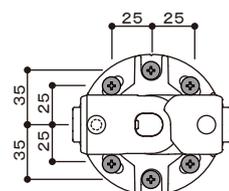
チーズブラケット 6本



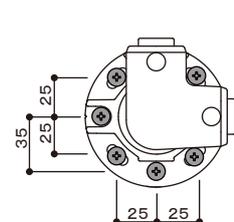
三方ブラケット 6本



自在Lブラケット 6本

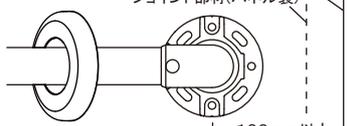


コーナーブラケット 6本



### 2. 手すり取付け位置を決める。

ブラケットはパネルとパネルのジョイント部から100mm以上離す。



スリットなしの本体カバーは後付けができないため、手すり棒に通した状態で施工を進める。

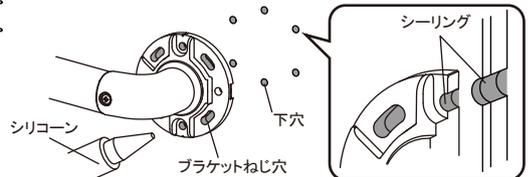
### 3. ねじ止め位置をけがき、下穴 ( $\phi 3\text{mm}$ ) をあける。

センターポンチを使用して下穴の中心を出すと施工しやすい。鉄工用ドリルビットを使用する。



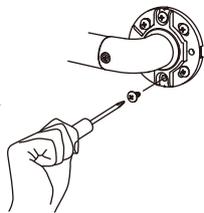
### 4. 下穴とブラケットねじ穴にシーリングを行う。

下穴と使用するブラケットねじ穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。



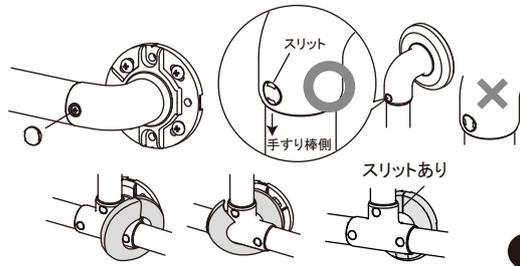
## 5. ブラケットを取付ける。

ねじは必ず手回しで取付ける。  
強く締めすぎるとねじが空回りし、  
ガツツキや脱落の原因となる。



- ねじがブラケット座に接してから半回転以上締め付けない。また、電動ドライバーでねじを取付けない。強く締めすぎるとねじが空回りし、ガツツキや脱落の原因となる。

## 6. ねじキャップと本体カバーを取付ける。



スリットありの本体カバーはひねりながら手すり棒に通し、ブラケットにはめていく。



ブラケット座の凹部と、刻印位置の裏側にあるツメをあわせる。

- ねじキャップと本体カバーは上図の向きで取付ける。

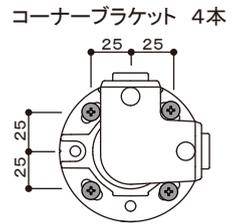
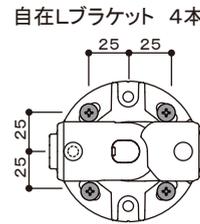
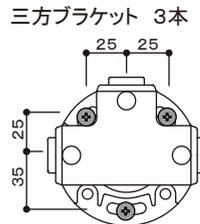
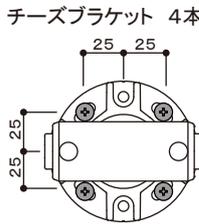
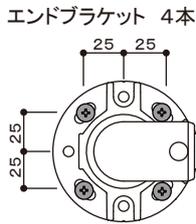
# ユニットバス フレキシブル板+発泡ポリスチレン タイル+けい酸カルシウム板での施工方法

- オフセットブラケットは在来工法壁専用の為、ユニットバスには取付けない。
- 出隅ブラケットは木下地専用の為、ユニットバスには取付けない。

- 施工後はガツツキが無いことを必ず確認する。

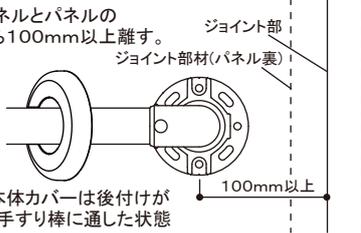
## 1. 使用する壁取付け用固定ねじと各ブラケットのねじ止め位置を確認する。

壁取付け用固定ねじ  
SAQ-OP8 (別売)  
トラスタッピンねじ4×50  
中空壁用アンカー  
専用角座金



## 2. 手すり取付け位置を決める。

ブラケットはパネルとパネルの  
ジョイント部から100mm以上離す。



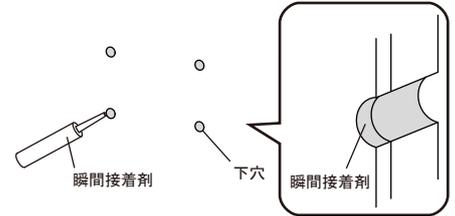
スリットなしの本体カバーは後付けが  
できないため、手すり棒に通した状態  
で施工を進める。

## 3. ねじ止め位置をけがき、 下穴(φ6mm)をあける。

タイルの場合は磁器タイル用ドリルビットを  
使用する。

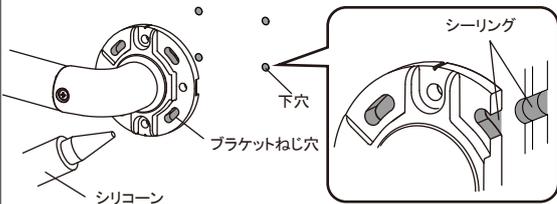


## 4. 下穴の内部に瞬間接着剤を 塗布して下穴を補強する。



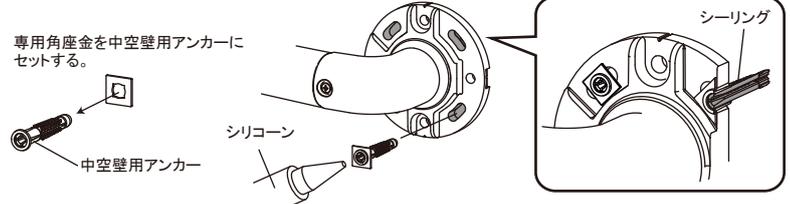
## 5. 下穴とブラケットねじ穴にシーリングを行う。

下穴と使用するブラケットねじ穴がシリコンで  
埋まるようにしっかりとシーリングを行う。



## 6. 中空壁用アンカーを挿入し、アンカーにシーリングを行う。

ブラケットねじ穴を下穴位置に合わせ、中空壁用アンカーをブラケットねじ穴と  
下穴に挿入し、アンカーにシーリングを行う。



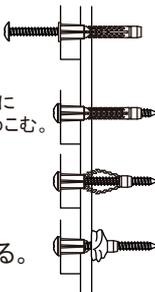
## 7. ブラケットを取付ける。

角座金がブラケット座にすき間なく  
当たっている事を確認し、  
ブラケットを壁にしっかりと  
密着させて電動ドライバーで  
ねじを締める。



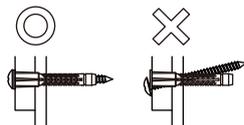
ねじ頭がブラケット座  
に接するまで  
アンカーは潰れない。

ねじ頭がブラケット座に  
接してから3秒程締めこむ。

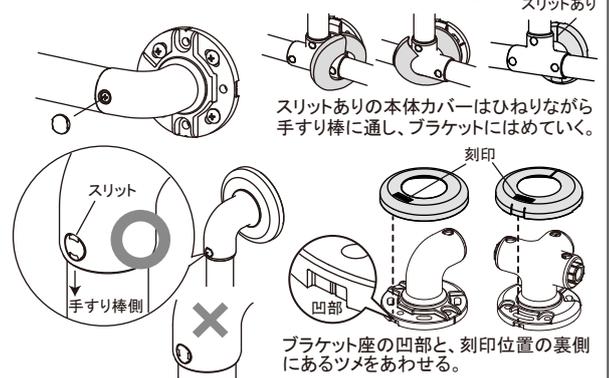


- 手回しでねじを取付けない。ガツツキや脱落の原因となる。
- 電動ドライバーで5秒以上締めこまない。アンカーが破損し、ガツツキや脱落の原因となる。

- アンカーからねじがずれないように、ねじはまっすぐ打つ。斜めにねじを打つとアンカーが潰れず、ガツツキや脱落の原因となる。



## 8. ねじキャップと本体カバーを取付ける。



スリットありの本体カバーはひねりながら手すり棒に通し、ブラケットにはめていく。

ブラケット座の凹部と、刻印位置の裏側にあるツメをあわせる。

- ねじキャップと本体カバーは上図の向きで取付ける。

# 在来工法 コンクリート下地での施工方法

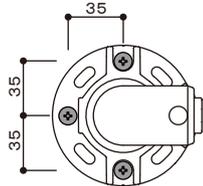
- ⊘ 出隅ブラケットは木下地専用の為、コンクリート下地には取付けない。 **!** 施工後はガタツキが無いことを必ず確認する。

## 1. 使用する壁取付け用固定ねじと各ブラケットのねじ止め位置を確認する。

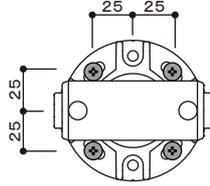
壁取付け用固定ねじ (同梱品)+オールプラグ (別売)

トラスタッピンねじ5×70   
 オールプラグ 

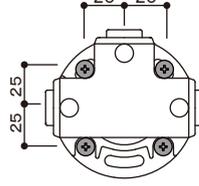
エンドブラケット 3本



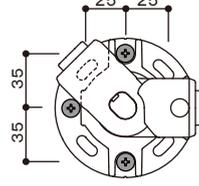
チーズブラケット 4本



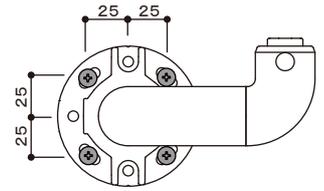
三方ブラケット 4本



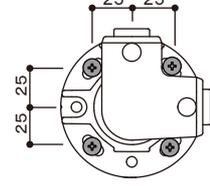
自在Lブラケット 3本



オフセットブラケット 4本

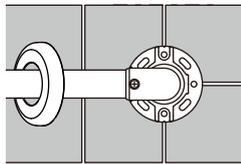


コーナーブラケット 4本



## 2. 手すりの取付位置を決める。

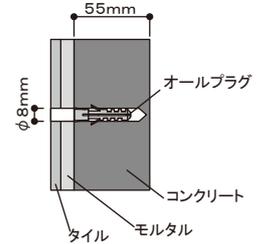
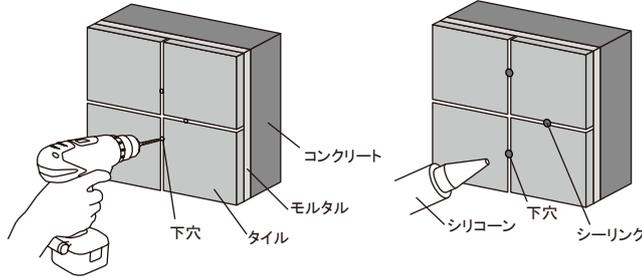
タイルに取付ける場合はタイルの目地位置にねじ止めをすと施工しやすい。



スリットなしの本体カバーは後付けができないため、手すり棒に通した状態で施工を進める。

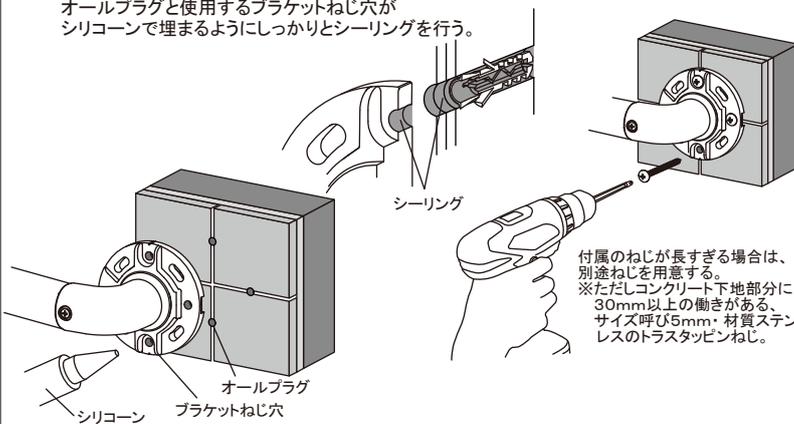
## 3. ねじ止め位置をけがき、下穴(φ8mm)をあけ、シーリングを行い、オールプラグを挿入する。

タイルの場合は磁器タイル用ドリルビットを使用する。下穴深さはコンクリート面から55mm。オールプラグはコンクリート面まで埋める。



## 4. ブラケットねじ穴とオールプラグにシーリングを行う。

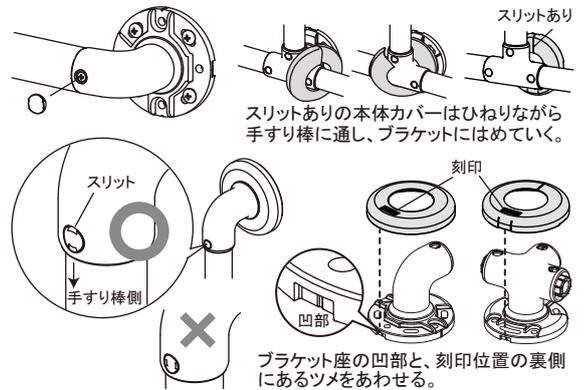
オールプラグと使用するブラケットねじ穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。



## 5. ブラケットを取付ける。

付属のねじが長すぎる場合は、別途ねじを用意する。  
 ※ただしコンクリート下地部分に30mm以上の働きがある、サイズ呼び5mm・材質ステンレスのトラスタッピンねじ。

## 6. ねじキャップと本体カバーを取付ける。



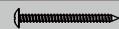
- !** ねじキャップと本体カバーは上図の向きで取付ける。

# 在来工法 木下地での施工方法

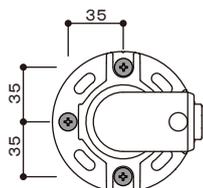
- !** 施工後はガタツキが無いことを必ず確認する。

## 1. 使用する壁取付け用固定ねじと各ブラケットのねじ止め位置を確認する。

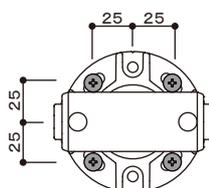
壁取付け用固定ねじ (同梱品)

トラスタッピンねじ5×70 

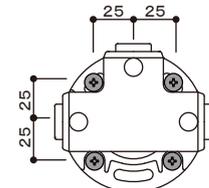
エンドブラケット 3本



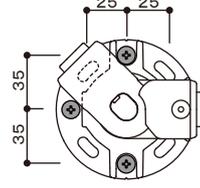
チーズブラケット 4本



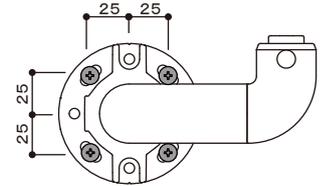
三方ブラケット 4本



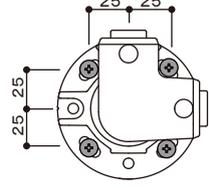
自在Lブラケット 3本



オフセットブラケット 4本

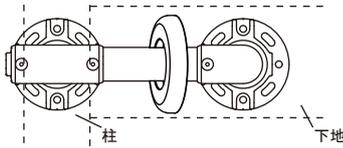


コーナーブラケット 4本



2. 手すりの取付位置を決める。

ブラケットは必ず柱・間柱または下地に取付ける。



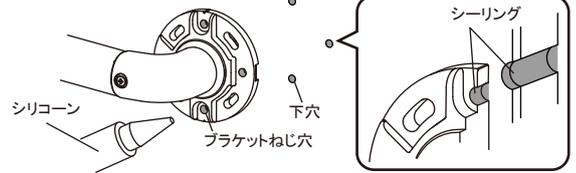
スリットなしの本体カバーは後付けができないため、手すり棒に通した状態で施工を進める。

3. ねじ止め位置をけがき、下穴(φ3mm)をあける。

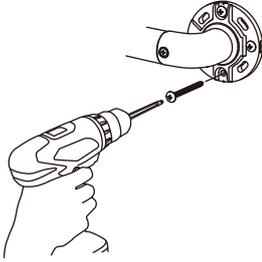


4. 浴室内で使用する場合は下穴とブラケットねじ穴にシーリングを行う。

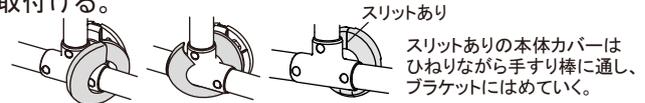
下穴と使用するブラケットねじ穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。



5. ブラケットを取付ける。



6. ねじキャップと本体カバーを取付ける。



スリットあり  
スリットありの本体カバーはひねりながら手すり棒に通し、ブラケットにはめていく。

刻印  
ブラケット座の凹部と、刻印位置の裏側にあるツメをあわせる。

●ねじキャップと本体カバーは左図の向きで取付ける。

## お手入れ方法

### から拭きでのお手入れ

1. やわらかい布でから拭きする。

### 中性洗剤でのお手入れ

1. 中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭きとる。
2. 洗剤が残らないように水拭きする。
3. 最後に柔らかい布で水気を完全に拭きとる。

### 塩素系洗剤でのお手入れ

※市販の漂白剤(塩素濃度約5%)の場合

1. 塩素系洗剤を濃度0.02% (500mlのペットボトル1本の水に2ml、ペットボトルのキャップ半杯)以下で希釈する。

注1)厚生労働省「社会福祉施設、介護老人保健施設におけるノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生・まん延防止策の一層の徹底について」における消毒液の基準に準じる

2. 柔らかい布に含ませた後、固く絞り、洗剤が1箇所にならぬように注意しながら手早く拭く。
3. 洗剤が残らないように水拭きする。
4. 最後に柔らかい布で水気を完全に拭きとる。

- 酸性、アルカリ性洗剤やシンナー、ベンジン等の有機溶剤は使用しない。(変形変色の原因となる。)
- クレンザー、磨き粉、ナイロンたわし等は使用しない。(傷の原因となる。)
- 浸け置き洗いはしない。(変形変色の原因となる。)

## 保証規定(保証書)

### ●保証期間:お買い上げ日より1年

この保証規定は、故障や欠陥が発生した場合に、お買い上げ後1年以内であれば、無償修理または交換をお約束するものです。

ただし下記の場合は、保証期間内においても有償修理となります。

- (1)本書記載以外の使用や禁止行為などに起因するもの。
- (2)火災、地震、水害などの天災地変ならびに事故等外部要因に起因するもの。
- (3)お買い上げ後の落下、輸送による損傷。
- (4)使用による外観や本体外部の消耗および傷。
- (5)リサイクル業者や使用者などによる再販など、当社の責任範囲を超える場合など。
- (6)日本国外での使用。
- (7)当社もしくは当社の指定した修理事業者など以外による修理など。
- (8)本書の提示のない場合。
- (9)施工不備による損傷および不具合。
- (10)納入業者名、ご購入日を明記されていない場合。

納入業者名:

ご購入日:

年

月

日

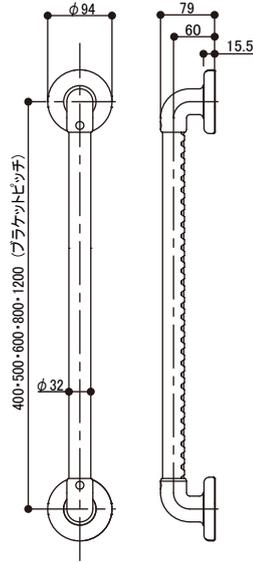
# 基本仕様

## I型ハンド

SAQ-I-400W/500W/600W/  
800W/1200W

材質: 手すり棒 半硬質樹脂・アルミ  
エンドブラケット本体 PP樹脂  
本体カバー PP樹脂  
ねじキャップ PE樹脂  
補強手すり棒(SAQ-I-1200Wのみ) アルミ

(単位:mm)

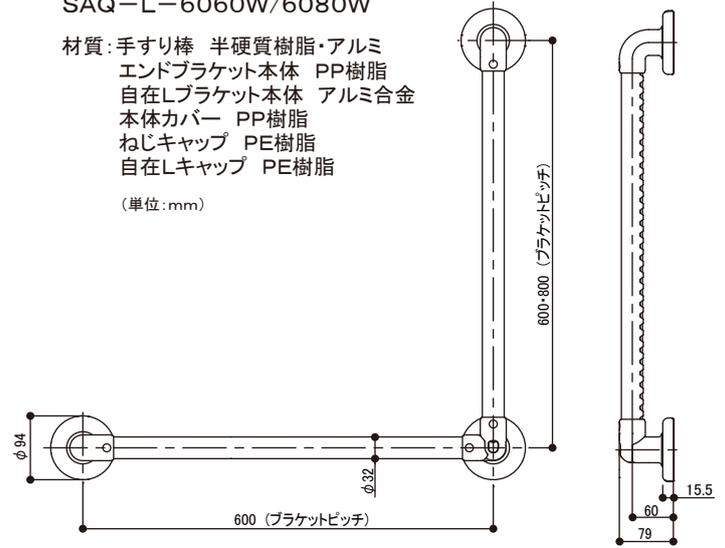


## L型自在ハンド

SAQ-L-6060W/6080W

材質: 手すり棒 半硬質樹脂・アルミ  
エンドブラケット本体 PP樹脂  
自在Lブラケット本体 アルミ合金  
本体カバー PP樹脂  
ねじキャップ PE樹脂  
自在Lキャップ PE樹脂

(単位:mm)

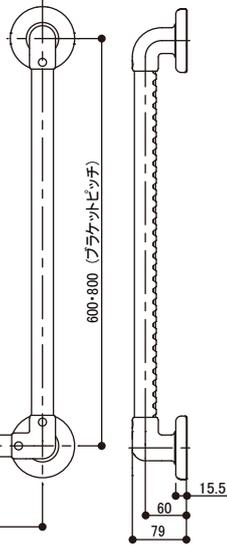


## L型ハンド

SAQ-K-6060W/6080W

材質: 手すり棒 半硬質樹脂・アルミ  
エンドブラケット本体 PP樹脂  
コーナーブラケット本体 PP樹脂  
本体カバー PP樹脂  
ねじキャップ PE樹脂

(単位:mm)

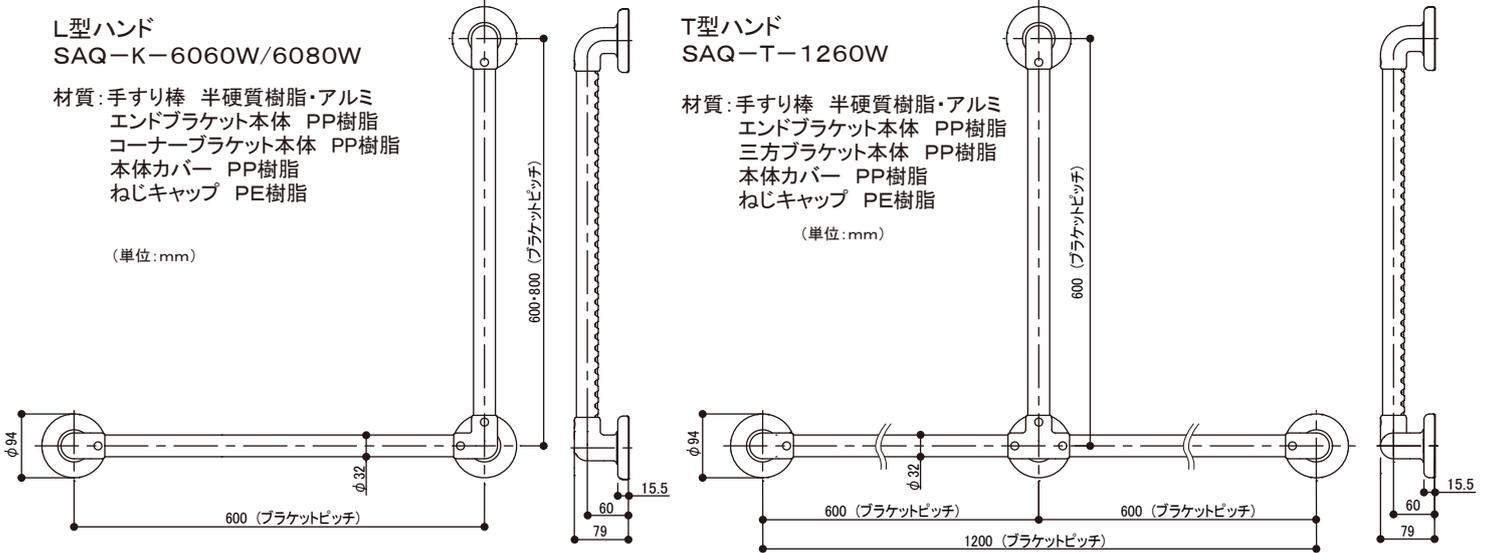


## T型ハンド

SAQ-T-1260W

材質: 手すり棒 半硬質樹脂・アルミ  
エンドブラケット本体 PP樹脂  
三方ブラケット本体 PP樹脂  
本体カバー PP樹脂  
ねじキャップ PE樹脂

(単位:mm)

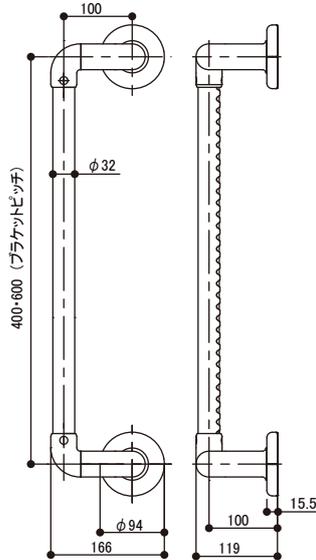


## オフセット型ハンド

SAQ-O-400W/600W

材質: 手すり棒 半硬質樹脂・アルミ  
オフセットブラケット本体 ASA樹脂  
本体カバー PP樹脂  
ねじキャップ PE樹脂

(単位:mm)



## 出隅I型ハンド

SAQ-D-600W/800W

材質: 手すり棒 半硬質樹脂・アルミ  
出隅ブラケット本体 アルミ合金  
本体カバー PP樹脂  
ねじキャップ PE樹脂

(単位:mm)

